

# 演習 5 - 開発者ポータルの利用

この演習では、API利用者として、開発者ポータルがどのように利用できるのかを確認します。

## 演習 5 - 目的

この演習では、以下の内容を理解できます。

- 開発者ポータルの有効化方法
- アプリケーションの登録方法
- プランへのサブスクライブの方法
- 開発者ポータルからのAPIのテスト方法

## 5.1 - 開発者ポータルの有効化

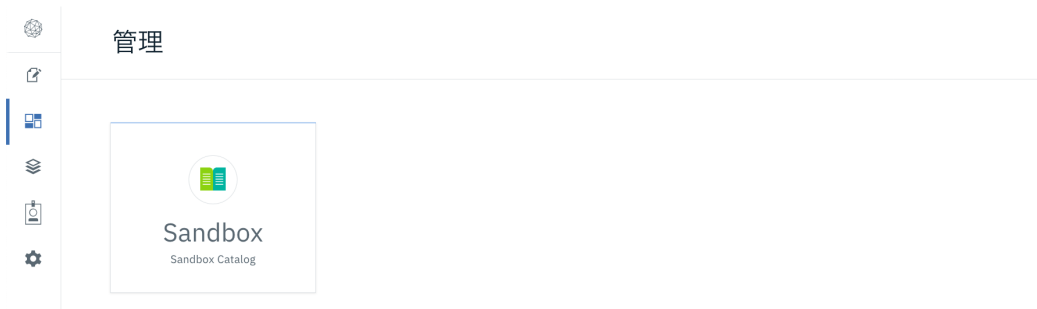


開発者ポータルをすでに有効化している場合には、5.2もしくは、5.3に進んでください。

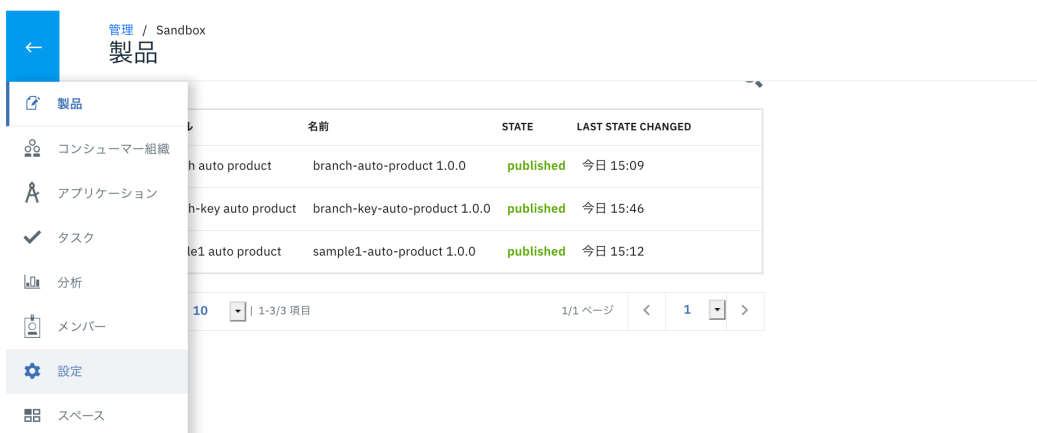
1. 開発者ポータルを有効化していない場合には、有効化します。開発者ポータルはカタログ単位で作成されます。新しいカタログを作成した場合には、開発者ポータルは有効化されていないため、有効化する必要があります。API Managerにログインしていない場合には、ログインします。
2. API Managerの左のメニューから **管理** を選択します。



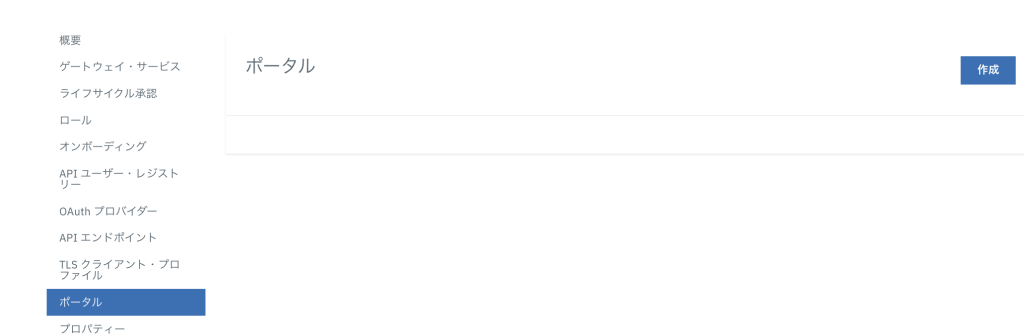
3. Sandbox を選択します。



4. 左側のカタログの管理メニューから 設定 を選択します。



5. 管理 メニューから ポータル を選択し、右側の 作成 をクリックします。



6. ポータル・サービス をプルダウンから選択し、作成 をクリックしてポータルサイトを作成します。ポータル・サービス には、その環境で構成されている ポータル・サービス が表示されます。

ポータル・サイト

カタログ用のポータル・サイトを作成します

このカタログで使用するポータル・サービスの選択

portal1

URL (オプション)

https://pw.mycluster-843612-98d9bd8ec23489ff9abfa33c8924325c-0001.jp-tok.containers.appdomain.cloud/pot

キャンセル

作成

#### 開発者ポータルについて

開発者ポータルのプロビジョニングが開始されました。完了までに数分かかります。すると、ポータル管理者アカウントのパスワードを設定するためのリンクが記載されたメールが送信されます。

[詳細情報](#)

- 開発者ポータルのプロビジョニングが開始され、メッセージが表示されます。数分で開発者ポータルのプロビジョニングが完了すると、プロバイダー組織所有者にメールが送信されます。

概要

ゲートウェイ・サービス

ライフサイクル承認

ロール

オンボーディング

API ユーザー・レジストリー

OAuth プロバイダー

API エンドポイント

TLS クライアント・プロファイル

**ポータル**

プロパティ

ポータル

⋮

✓

開発者ポータルのプロビジョニングが開始されました。完了までに数分かかります。完了すると、ポータル管理者アカウントのパスワードを設定するためのリンクが記載された E メールが送信されます。

✕

ポータル・サービス

portal1

ポータル URL

https://pw.mycluster-843612-98d9bd8ec23489ff9abfa33c8924325c-0001.jp-tok.containers.appdomain.cloud/potorg-0001/sandbox

ユーザー・レジストリー

Sandbox Catalog User Registry

- メールに表示されているリンクをクリックして、adminユーザーのパスワード等を設定します。



**admin** ユーザーは、開発者ポータルの画面のデザインを変更したり設定を変更する開発者ポータルの管理ユーザーです。開発者ポータルをAPI利用者として利用するには、後続の手順で開発者組織の作成とユーザー登録をしなければなりません。

## 5.2 開発者組織とユーザー登録

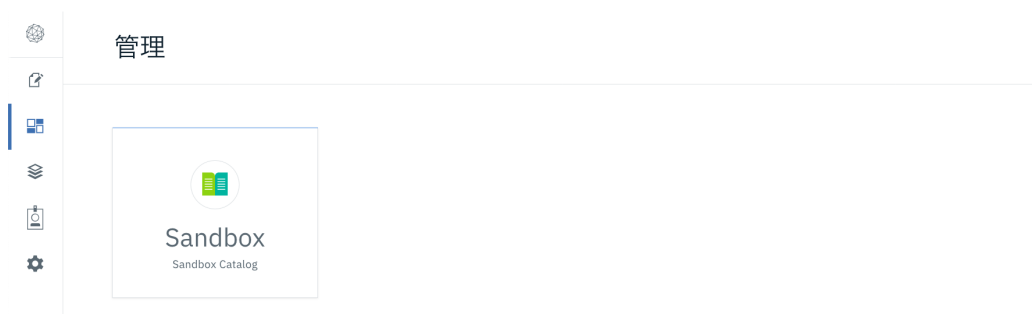


開発者組織作成、ユーザー登録をすでに実施している場合には、5.3に進んでください。

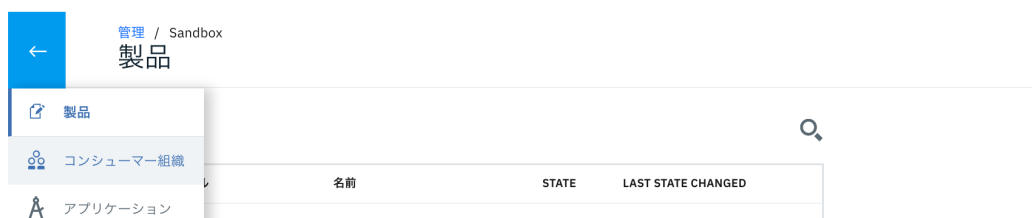
1. API Managerから開発者組織とユーザーを作成します。開発者組織はカタログごとに作成します。API Managerの左のメニューから **管理** を選択します。



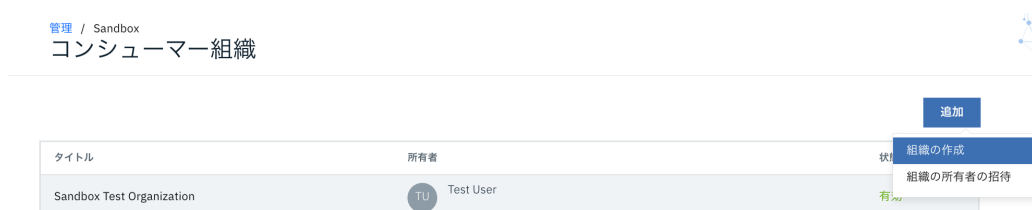
2. **Sandbox** を選択します。



3. 左側のカタログの管理メニューから **コンシューマー組織** を選択します。



4. 右の **追加** ボタンから **組織の作成** を選択します。



5. 組織名やユーザー名、メールアドレス等を入力して、作成 をクリックします。ユーザー名や組織名は任意の名前を指定してください。

コンシューマー組織

コンシューマー組織の詳細を入力します

タイトル

dev01

名前

dev01

所有者

コンシューマー組織の所有者を指定します

ユーザー・レジストリー

サンドボックス・カタログ・ユーザー・レジストリー

ユーザーのタイプ

☐ 既存 ☒ 新規ユーザー

ユーザー名

dev01.user01

E メール

apic.2018.handson.user101@gmail.com

名

user01

姓

dev01

パスワード

.....

パスワードの確認

.....


キャンセル

作成

## 6. コンシューマー組織が作成されました。

管理 / Sandbox  
コンシューマー組織

コンシューマー組織 dev01 が作成  
されました  
dev01.user01 に所有者が割り当てられ  
ました  
2020年1月28日 火曜日 13:29

タイトル	所有者	状態
dev01	 user01 dev01 apic.2018.handson.user00...	有効

7. 作成したユーザーで開発者ポータルにログインしてみましょう。開発者ポータルのURLは、開発者ポータルを有効化したメニューで確認できます。API Manager左のメニューから、管理 > Sandbox > 設定 > ポータル と進み、確認します。

概要

ゲートウェイ・サービス

ライフサイクル承認

ロール

オンボーディング

API ユーザー・レジストリー

OAuth プロバイダー

API エンドポイント

TLS クライアント・プロファイル

**ポータル**

プロパティ

ポータル

ポータル・サービス  
portal1

ポータル URL  
https://pw.mycluster-843612-98d9bd8ec23489ff9abfa33c8924325c-0001.jp-tok.containers.appdomain.cloud/potorg-102/sandbox

ユーザー・レジストリー  
Sandbox Catalog User Registry

8. ポータルのトップページで サインイン をクリックし、登録したユーザー名、パスワードでログインします。

IBM API Connect  
Developer Portal

API 製品   ブログ   フォーラム   サポート

🔍 アカウントの作成   サインイン



新しい時代の幕開けです  
API で未来を創造しましょう。

API をデータ探索やソフトウェア購入に活用することで、これまで以上にクリエイティブに。  
API の可能性はお客様のアイデアで無限に広がります。

API ドキュメンテーションの探索

API Developer Portal

サインイン

Sandbox Catalog User Registry を使用して  
サインインしてください

次を使用して続行

ユーザー名  
dev01.user01

パスワード  
\*\*\*\*\*

サインイン

admin

または

## 5.3 開発者ポータルへのログイン

1. 開発者ポータルにログインしていない場合には、ログインします。ポータルトップページにアクセスし、右上の **サインイン** をクリックして、ユーザー名、パスワードを入力してログインします。





2. **API製品** をクリックして、公開されている製品を確認してみましょう。




3. 公開した製品 **FindBranch** をクリックして確認してみましょう。

## API 製品

**branch auto product**  
1.0.0  
★★★★★

**branch-key auto produc...**  
1.0.0  
★★★★★

**FindBranch**  
1.0.0  
★★★★★

branch 1.0.0

branch-key 1.0.0

branch-key 1.0.0  
FindBranch 2.0.0

4. FindBranch 製品には、2つのAPIが含まれており、2つのプランが設定した通りに表示されています。プランの詳細を確認するために、詳細の表示 をクリックしてみましょう。

すべての製品 /

 **FindBranch** 1.0.0 ★★★★★

### API

 **branch-key** 1.0.0     **FindBranch** 2.0.0

### プラン

Silver	Gold
<a href="#">サブスクライブ</a>	<a href="#">サブスクライブ</a>
<a href="#">詳細の表示</a> ▼	

5. プランのレート制限が表示されます。レート制限の表示にマウスのカーソルを合わせると、レート制限の詳細が表示されます。

### プラン

API	Silver	Gold
	<a href="#">サブスクライブ</a>	<a href="#">サブスクライブ</a>
> branch-key 1.0.0	2 レート制限 *	2 レート制限 *
> FindBranch 2.0.0	2 レート制限 *	2 レート制限 *
<a href="#">詳細の非表示</a> ↑		

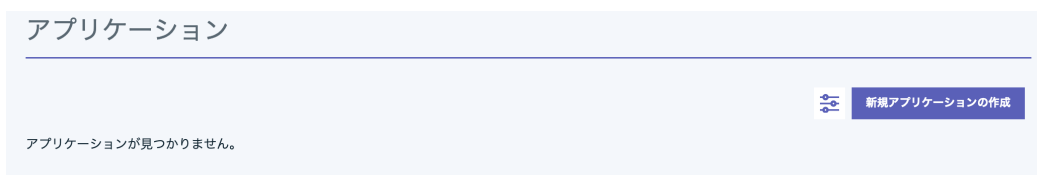
## 5.4 アプリケーション登録



1. プランへの利用登録を行うためにアプリケーション登録を行います。アプリケーションを登録すると、APIキーとシークレットがポータル上で発行されます。上部のメニューから **アプリケーション** をクリックします。



2. **新規アプリケーションの作成** をクリックします。



3. タイトルに **SampleApp** と入力し、**送信** をクリックします。



4. アプリケーションが登録されると、**APIキー** と **秘密鍵(シークレット)** が表示されます。シークレットはここで一度しか表示されないため、今後のためにコピーして保存しておいてください。

✓ アプリケーションが正常に作成されました。

API キーと秘密鍵

アプリケーションの API キーと秘密鍵が生成されました。

キー

.....

☐ 表示

秘密鍵

.....

☐ 表示

秘密鍵はここに 1 回しか表示されません。API 秘密鍵をコピーし、記録として保管してください。

継続


## 5.5 プランの利用登録

1. APIを利用するには、プランの利用登録を行う必要があります。API製品 タブをクリックし、FindBranch 製品を選択します。

IBM API Connect Developer Portal


API 製品   アプリケーション   ブログ   フォーラム   サポート

API 製品




branch auto product  
1.0.0  
★★★★★

branch 1.0.0



branch-key auto produc...  
1.0.0  
★★★★★

branch-key 1.0.0



FindBranch  
1.0.0  
★★★★★

branch-key 1.0.0  
FindBranch 2.0.0

2. Silver プランに サブスクライブ(利用登録) してみましょう。Silver プランの サブスクライブ をクリックします。

プラン

Silver

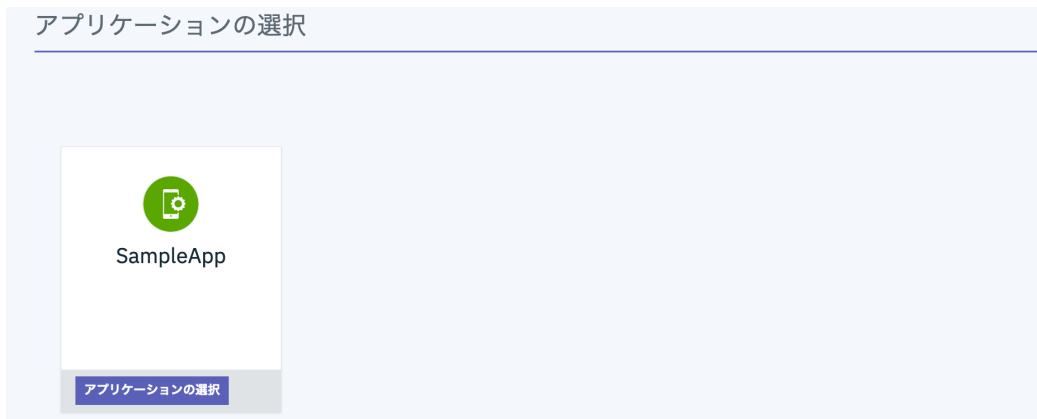
サブスクライブ

Gold

サブスクライブ

詳細の表示

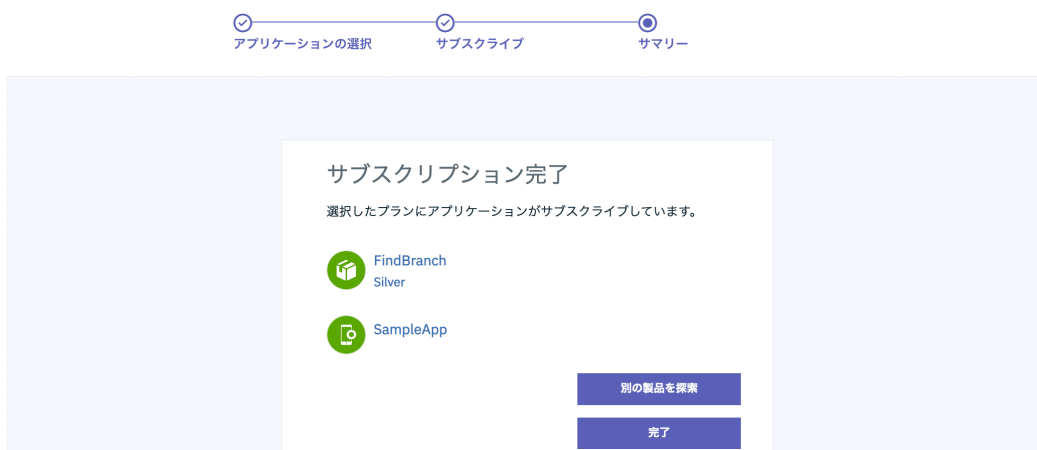
3. 作成した **SampleApp** が表示されるので、 **アプリケーションの選択** をクリックします。



4. 内容を確認して **次へ** をクリックします。

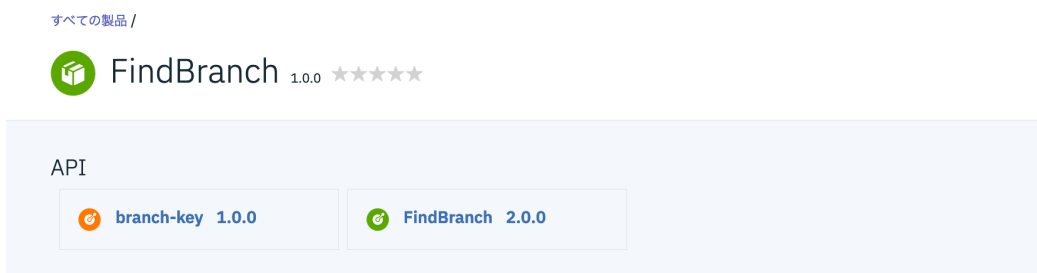


5. **完了** をクリックします。



## 5.6 APIのテスト実行

1. APIをテスト実行してみましょう。FindBranch 製品の画面からFindBranch APIを選択します。



2. APIの詳細が表示されます。パスの詳細を表示するために、左のメニューからGET /details を選択します。



3. APIのURLや要求や応答の例がこの画面から確認ができます。試してみる をクリックして、APIのテストを行ってみましょう。



4. クライアントID に SampleApp が表示されていることを確認し、送信 をクリックします。



り、レート制限を超えたことにより、APIの呼び出しができなかったことが分かります。

要求	<pre>GET https://apicgw.mycluster-843612-98d9bd8ec23489ff9abfa33c8924325c-0001.jp-tok.containers.appdomain.cloud/potorg-101/sandbox/findbranch/details ヘッダー: Accept: application/json X-IBM-Client-Id: dc3b629792c46f2737f905292ced177a</pre>
応答	<pre>コード: 429 Too Many Requests ヘッダー: content-type: application/json retry-after: name=aaa@a~aa*a~aiaa!e,3418 x-ratelimit-limit: name=aaa@a~aa*a~aiaa!e,5; x-ratelimit-remaining: name=aaa@a~aa*a~aiaa!e,0; x-ratelimit-reset: name=aaa@a~aa*a~aiaa!e,3418 {   "httpCode": "429",   "httpMessage": "Too Many Requests",   "moreInformation": "Rate Limit exceeded" }</pre>

以上で、演習5は終了です。

続いて、 **演習 6 - OAuthセキュリティの実装**に進んでください。